

オーストラリアの温泉・温泉産業と地域開発における役割

温泉とスパは、成長するウェルネス業界の中止的な構成要素であり、訪問者経済の中でもっとも急速に成長している分野の一つであります。

グローバル・ウェルネス・インスティテュート（2018）は、ウェルネス・ツーリズム産業が、世界経済の為に4兆2000億米ドルを生み出していると推測しています。その中で産業サブセクターとしては1,750億ドルを生み出しています。

世界の多くの地域で、温泉はその国の文化的慣習が埋め込まれた長い歴史を持っています。

しかし、オーストラリアでは、温泉やスパに対する経験はまだ浅く開発の初期段階であります、その中でも有名で成功した温泉やスパセンターがいくつかあります。

ビクトリア州には、メトン、シーコムウエスト、フィリップ島、モーニングトン半島、グレートオーシャンロードの十二使徒、ワーナンブールからビクトリアの海岸線を横切る温泉が含まれます。

業界分析によると、温泉施設やスパ施設が、地域経済に対して直接的・間接的な経済的利益を生み出している。

いくつかの事例では、温泉は地域の大きな成長の触媒となり、より大きな観光客経済を支える中心的な魅力となっている。

しかし、温泉・スパ業界に関する研究が新たに生まれる一方で、既存の研究は主に訪問による経済的利益と入浴療法や代替療法の健康上の利点に焦点を当てています。

産業と地域開発目標の連携を調査することは、現在の学術文献のギャップに対処し、地域開発戦略に関する産業政策の情報化を行います。

この研究はまた、ビクトリア州と他の州で提案された新しい開発により、今後10年間で業界が大幅に成長すると予測していることからこの研究はタイムリーに行われます

この研究は産業、が社会、文化、環境に与える影響とより強固で強硬な地域社会を構築し、持続可能な雇用を構築する地域開発目標とどれほど一致するかを調査することを提案しています。

この研究の目的はスパ、温泉センターが地域生活の向上、文化の多様性の向上、環境の向上、サービスの向上などを通じて地域の生活の向上や生活の質の向上に寄与して来たか、または貢献しているのかを検証することです。

プロジェクトの目的には、次のものが含まれます。

- オーストラリアの温泉・温泉産業の発展をたどる。
- 雇用、所得、環境、健康、サービス等の温泉・ウェルネス施設の存続及び運営に関する地域福祉の施策を特定する。
- これらの施策を適用し、温泉や温泉開発が地域や地域社会の幸福に貢献することを明言する。
- 温泉と温泉と地域の幸福との関係を探る。
- 地域開発目標を高めるための将来の開発の機会を特定する。

この研究は、プロジェクトスポンサーであるオーストラリア温泉協会によって促進され、オーストラリア全土の温泉・スパリゾートのケーススタディが含まれます。

- 西オーストラリア:タワリ温泉
- ノーザンテリトリー:キャサリンホットスプリングス
- クイーンズランド州:クナムラ温泉とタラルー温泉
- NSW:モア・アルテシアン・スパ
- 南オーストラリア:ダルハウジー・スプリングス
- ビクトリア:ペニンシュラホットスプリングス、ディープブルーホテル、ホットスプリング。フィリップアイランド温泉&メトン温泉。
- タスマニア:ヘイスティングス洞窟と温泉